

天理よろづ相談所病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。

お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

また、この研究は当院の研究倫理委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	マルチパラメトリックフローサイトメトリーと遺伝子変異解析を用いたリンパ形質細胞リンパ腫／ワルデンシュトレームマクログロブリン血症の包括的診断法の開発
当院の研究責任者（所属）	林田 雅彦（天理よろづ相談所 医学研究所）
本研究の目的	リンパ形質細胞リンパ腫（LPL）／ワルデンシュトレームマクログロブリン血症（WM）は低悪性度 B 細胞リンパ腫の一つで、リンパ球と形質細胞の中間的な性格のリンパ形質細胞が骨髄で増殖することと、血中に IgM M 蛋白（マクログロブリン）を認めることを特徴とします。近年では、本症に有効な新薬が開発されています。 LPL/WM には MYD88 遺伝子の変異が高頻度に認められますが、他の低悪性度 B 細胞リンパ腫や慢性リンパ性白血病との鑑別は容易ではありません。本研究では、マルチパラメトリックフローサイトメトリーという最新の機器を用いて LPL/WM の腫瘍細胞を詳細に解析し、その特徴的な抗原発現パターンを明らかにします。ついで、従来から当研究所で実施してきた MYD88 遺伝子変異検査や染色体・FISH 検査の結果と組み合わせることによって、本症を最も効率よく高感度に診断する方法を開発します。本研究によって、より多くの LPL/WM 患者さまが有効性の高い新薬による治療を受けられるようにしたいと考えています。
調査データ 該当期間	西暦2014年1月1日～西暦2025年3月31日まで
研究方法 （使用する試料等）	■調査対象となる患者さま 上記の期間に当院血液内科で診療を受け、リンパ形質細胞リンパ腫またはワルデンシュトレーム（原発性）マクログロブリン血症と診断された患者さま ■使用する情報 診療記録、検査データ、治療内容、マルチパラメトリックフローサイトメトリーによる造血器腫瘍抗原検査、抗原受容体遺伝子再構成検査、MYD88遺伝子変異検査、染色体・FISH検査、および各検査の余剰材料

試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の研究機関へ試料・情報を提供することはありません。
個人情報の取り扱い	研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。本研究の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。 将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて研究倫理委員会及び研究機関の長の承認を得て実施し、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。利益相反については、当院の利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。
研究期間	病院長承認日 ～ 2026 年 3 月 31 日
お問い合わせ先	天理よろづ相談所病院 血液内科 研究担当者：大野 仁嗣 電話：0743-63-5611（代表）